



街の中に緑を探す

たきのいこうえん  
**田喜野井公園**

斜面を利用した公園で、林の中にチューブスライダーや遊具があり、斜面の上下に比較的大きな広場があるため、いろいろな遊びを楽しむことができます。街の中のまとまった緑地であるため、イヌシデ、クマシデ、サクラ、コブシ、クヌギ、コナラなどの多様な樹木をはじめ、シジュウカラ、コゲラ、オナガなどの鳥も見られます。

**ニホンカナヘビ**

「ヘビ」と名前が付きますが、トカゲの仲間で、平地や山野の草地などで見つけることができます。尾が長く、体全体の2/3ほどを尾が占めています。危険な目にあうと、自分で尻尾を切って逃げ出します。切った尻尾はまた生えてきますが、再び生えてきた尻尾に骨はありません。



**ニホンヤモリ**

トカゲに似た爬虫類で、トカゲと同じく危険な目にあうと尻尾を切って逃げ出します。水辺に生息するイモリと名前が似ていますが、全くの別種です。夜行性のため昼間は樹木の名前プレートの裏などに潜み、暗くなると街灯に集まる虫を食べに出できます。田喜野井公園では木の皮の隙間や木の幹が二又に分かれた隙間などに隠れていることが多いです。

- ・ゴミは持ち帰りましょう。
- ・動植物を大切にしましょう。
- ・施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・ヘビやハチに注意しましょう。



森の中のアスレチック

雑木林内に木製アスレチックや斜面を利用した大きなチューブスライダーが設置されています。夏にはアスレチックから近くの木でセミが鳴いている様子を間近で観察することができます。

**ヤマトタマムシ**

緑色の金属光沢の美しい体色を持つ昆虫です。エノキやケヤキのある樹林に生息し、日中は樹上を飛翔していることが多いです。成虫が見られる時期は7、8月です。美しい体色は死骸になっても失われることはありません。



**ソメイヨシノ**

サクラの中でも最も一般的に植えられている品種です。実はなりませんが種は発芽せず、接木や挿し木などで増やすため、日本中のソメイヨシノは基本的にはクローンとなっています。春が来るとソメイヨシノが同じタイミングでいっせいに咲くのはそのためです。花の季節も見事ですが、紅葉の季節も見事です。



**アジサイ**

低木で、初夏に、青、紫、ピンクなどの花(装飾花)を密につける、梅雨の時期にお馴染みの花です。花びらのように見える部分はじつは萼(がく)で、品種によっても異なりますが、土が酸性だと青色に、アルカリ性だと赤色になると言われています。



**コゲラ**

スズメ程度の大きさの、日本で一番小さなキツツキで、雑木林でも見ることができます。コゲラに出会うためには、林の中を歩くときに、音に注意しながら歩いてみてください。「コッコッコッコ」といった乾いた音が聞こえることがあります。これはコゲラが木をつつくドラミングの音で、他にも「ギーギー」といった鳴き声を頼りに探すと、垂直に木の幹を上り下りする様子が見られます。



多目的広場

周囲を柵に囲まれた多目的広場です。

前原駅から  
約16分

前原駅

北



多目的広場

コゲラ、  
ヤマトタマムシ

ソメイヨシノ

アジサイ

広場

トイレ